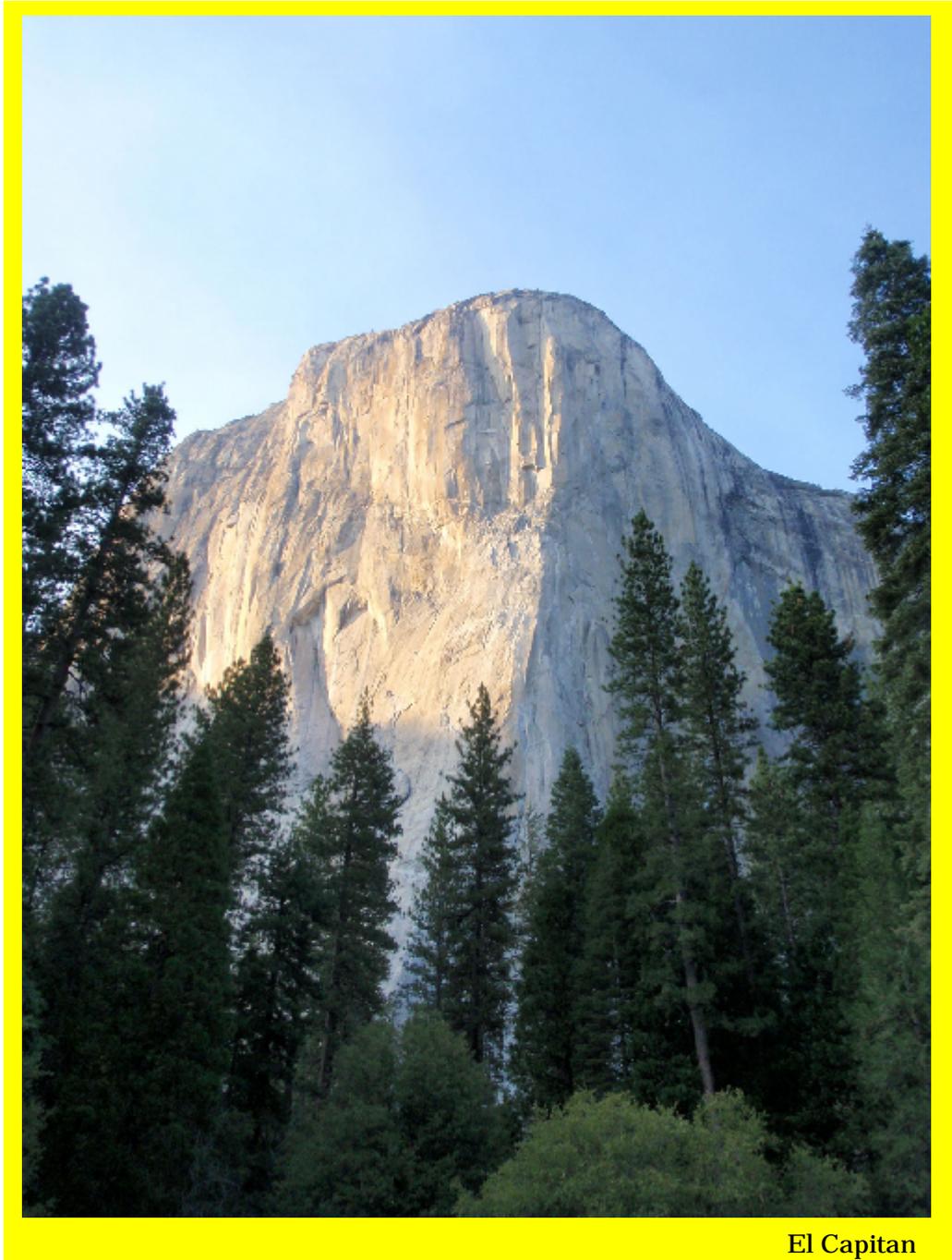


# YOSEMITE CLIMBING TOUR 2011



El Capitan

**2011.8.11 - 8.21**

# Yosemite National Park(ヨセミテ国立公園)

## 概略

神奈川県よりも大きな面積を持ち、今回行ったヨセミテ渓谷はヨセミテ全体のほんの1%程に過ぎない。氷河期初めには、1,200m程の氷河が埋め尽くされたと考えられる。岩質は花崗岩からなり、エルキャピタンやハーフドームといった代表する大岩壁が形成された。年間の観光客は、約350万人ほどで、その殆どがヨセミテ渓谷に集中する。1984年、ユネスコ世界遺産(自然遺産)に登録された。

## 位置

カリフォルニア州シアラネバダ山脈の中央部に位置する。サンフランシスコからは、直線で193mile(310km)、ロサンゼルスからは317mile(510km)ほどである。Camp4は事前の予約が要らないが人気が高く、朝5時前あたりから並ぶ必要がある。また、ハイシーズンではCamp4で最長宿泊日数は1週間とされている。料金は5ドル/1泊(1人)。

## 気候

地中海性気候で、冬季以外はほとんど雨が降らない。クライミングでの最適時期は、5~6、9~10月がよいだろう。

## 歴史

白人が入植する頃には、アワニチ族と呼ばれるネイティブアメリカンが住んでいた。アワニチ族は対立するミラク族から恐れられる存在であり、彼らより「殺し屋」と呼ばれていた。Yosemiteの由来は、その殺し屋という意味の「Yohhe'meti」からきたのだ。

## <レクリエーション>

Camp4はクライマーのみというイメージがあるが、実はそうでもない。ファミリーから友達同士、カップルと様々である。それぞれがサイクリングやポート・トレッキング・トランプや読書をしたり、休暇を楽しんでいる姿が印象的であった。

マウンテンバイクなどあれば、近場の岩場などは充分廻ることも出来る。

## <メンバー紹介>

氏名：井上 哲也(INOUE TETSUYA)

横浜蝸牛山岳会代表

生年月日：1961.11.30 49 歳

星座：射手座

ニックネーム：フィンガーのテツ

山行経歴：10 年

座右の銘：「七転八起」

趣味：アルパイン・キャンプ・写真

言わずと知れた横浜蝸牛山岳会代表である。社長の傍ら、マンション理事など役職が多く、多忙である。今回は思い切ってヨセミテに行きを決断。最近、孫と遊ぶことも楽しい。



氏名：上坂 和久(KAMISAKA KAZUHISA)

横浜蝸牛山岳会リーダー

生年月日：1971.12.13 39 歳

星座：射手座

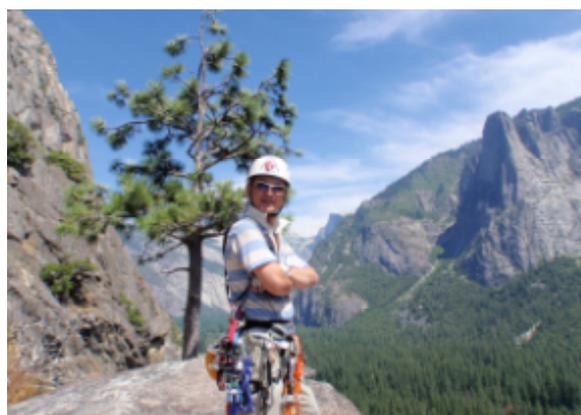
ニックネーム：レイバックのカミ

山行経歴：8 年

座右の銘：「不言実行」

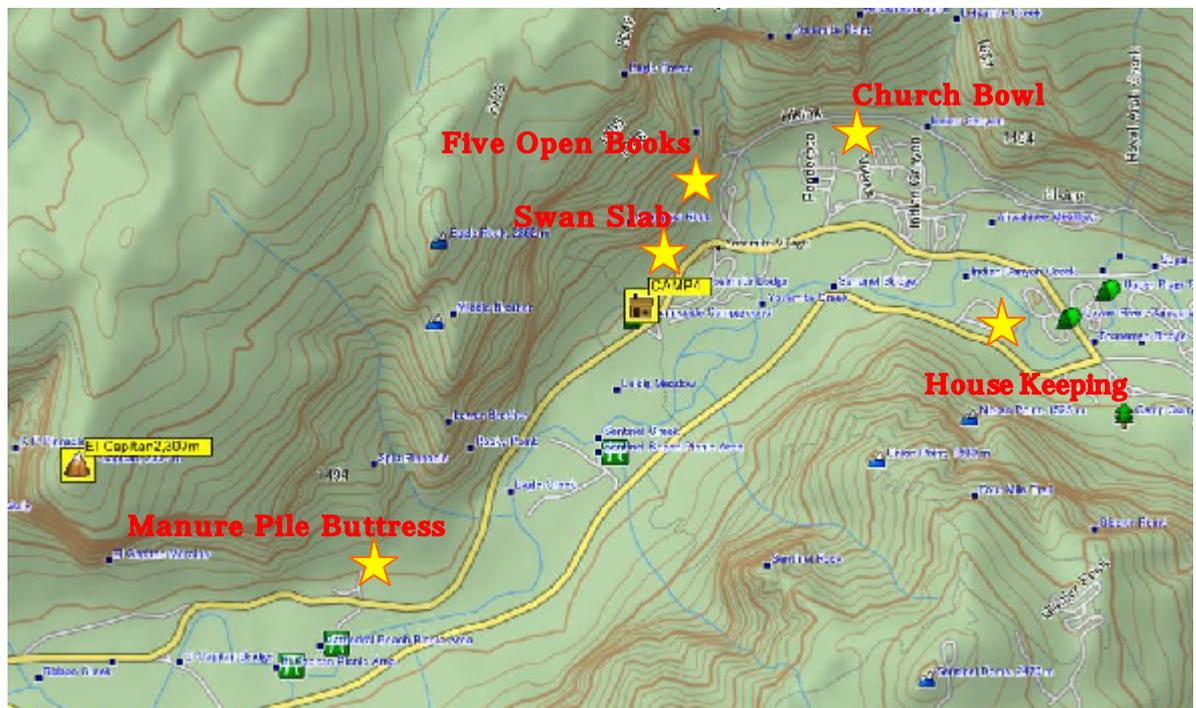
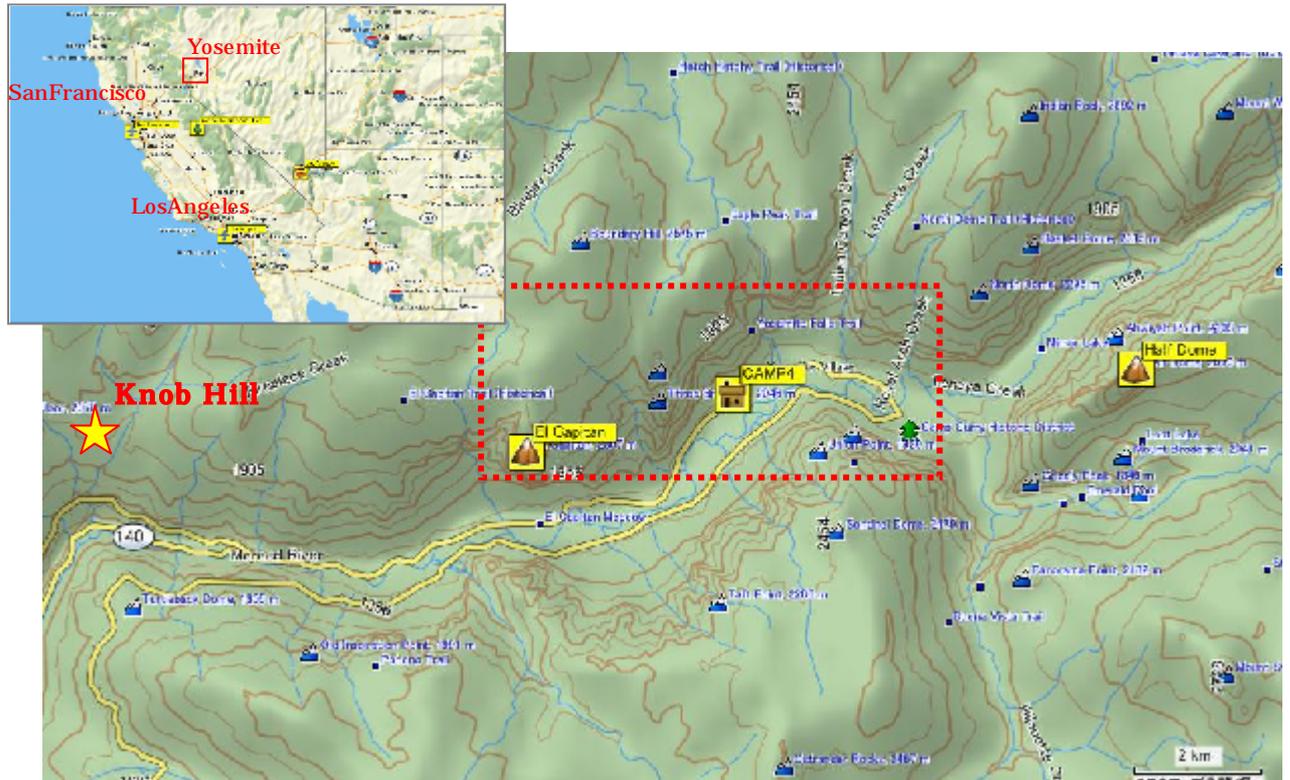
趣味：山・写真・布団ほし

今年で 40 歳になるが、未だ独身である。九州出身。



## Trip Schedule

日本時間	現地時間
8/11(木)	
16:00	東京(成田)発 DELA AIR LINE DL208
	8/11(木)
	10:00 サンフランシスコ国際空港着
	12:00 REI Berkeley, MAMMUT SHOP
	18:00 JERRY'S MOTEL (Oakdale)泊
8/12(金)	YOSEMITE NATIONAL PARK
	4:00 Camp4
	Swan Slab
	Penelope's Problem 5.7
	Oak Tree Flake 5.6
	Unnamed 5.9
	8/13(土) Camp4
	Knob Hill
	Pot Belly 5.8
	Unnamed 5.9
	Sloth Wall 5.7
	Anti Ego Crak 5.7
	Swan Slab
	Unnamed crack 5.7
	Unnamed crack 5.9
	8/14(日) Camp4
	Church Boel
	Uncle Fanny 5.7
	Church Boel Lieback 5.8
	Swan Slab
	Grant's crack 5.9
	Unnamed thin crack 5.10a
	8/15(月) Rest
	8/16(火) Camp4
	Five Open Books
	Munginella 5.6
	給油
	8/17(水) Camp4
	Manure Pile But tress
	Nutcracker 5.8
	8/18(木) Camp4
	Half Dome Trekking
	8/19(金) YOSEMITE NATIONAL PARK
	The North Face Outlet
	REI Berkeley/San Francisco
	SUPER8 MOTEL - San Bruno泊
	8/20(土) サンフランシスコ国際空港発
	13:20 DELA AIR LINE DL209
8/21(日)	
16:00	東京(成田)着



8月11日(木) 晴れ

相模大野駅(集合) ~ 成田空港 ~ 出国 ~ サンフランシスコ空港 ~ REI Barkley ~  
MAMMUT SHOP ~ Oakdale 泊

いよいよ井上(哲)さんとアメリカ合衆国ヨセミテ国立公園に向けて出発となった。

出発の日もうだるような暑さだった。相模大野駅にて井上さんと待ち合わせをして、バスに乗り込む。渋滞が気になるが、予定通り成田空港に到着した。

昼食と買い物などして、井上さんが待っているゲートに時間ぎりぎりに行くと、「あっ、上坂さまですね」と係りの人に言われる。遅れていたせいかと思うと、何とエコノミーからビジネスに変わっていた。テンションが上がった。人は真っ直ぐに生きてると、いいことがあるのだなあ実感する。

おかげでかなり快適な旅が楽しめた。無事サンフランシスコに到着し、予約したレンタカーで、まず REI バークレー店に向かう。日本から GARMIN のポータブルナビを準備し、既に今回に必要なポイントなども登録しておいた。これは御世辞抜きでオススメのアイテムである。

REI では日本語も話せるスタッフもいて、大変お世話になった。買い物しているだけで楽しくなる。必要なもののみ買出し、ヨセミテ方面に向かった。宿泊予定の Manteca も過ぎ、少し先の Oakdale の JERRY'S MOTEL(\$ 59.95/ 1 部屋)とした。



ビジネスクラスは最高



REI Barkley

N37° 52'46.38

W122° 17'44.66

(WGS84)

8月12日(金) 晴れ

Oakdale 発～ヨセミテ国立公園 CAMP4～買出し～クライミング

確実にテン場を押さえるため、深夜 1 時頃にモーテルを出発した。順調に進み、ヨセミテ国立公園のゲートも通過(深夜のため誰もいなかった。帰りで入園料を支払った)し、更に進むと何かうっすらと見えてくる。大岩壁ではないか!!井上さんと叫んだ。この日は満月。白夜に映し出されるエルキャピタンは、より心に刻まれることとなった。

CAMP4 の駐車場には 4 時前には到着し、直ぐ近くのロッジ前に並んだ。一番乗りだ。

8 月とは言え、肌寒く薄手のダウンも着込んだ。5 時前あたりから、次々とやってきて並び始めた。受付開始の 8 時半には 50 名近く並んでいたと思う。きれいなパークレンジャーの女性がマウンテンバイクでやってきて受付を済ませ、18 番エリアにテントを張った。テントサイトは全部で 35 区画に分けられ、1 区画 4 グループ 16 人までとなっているようだった。CAMP4 といえば、クライマーだらけと思っていたが、ファミリーや友達同士、カップル、一人という方もおり、いろんな人が集まっていた。敷地内にもボルダーができる岩が小さいものから大きなものまである。

寝不足と日中の猛烈な暑さもあり、その後は買出しと周辺を回ることにした。CURRY VILLAGE では、マウンテンショップもあり立ち寄ってみた。ここは REI より品揃えもよく、クライミングギアをぎっしりと並んでいた。ただ、アメリカではギア類は日本のように気軽に手に取れないのだ。カウンターの裏に並んでいたり、鍵のかかったガラスケースの中にあり、その都度見せてもらうように依頼するしかない。それでも楽しかった。

その後に YOSEMITE VILLAGE で買出しをしてテントサイトに戻った。



Swan Slab



ここが Camp4 の受付場所だ

N37 ° 44' 32.48

W119 ° 36'08.04

この日は疲れもあり、ゆっくり過ごそうかと思ったが、夕方からはかなり過ごしやすくなってきた。足慣らしも兼ね、CAMP4 から歩いていける SWANSLAB に向った。ここは 5.8 や 5.9 が中心となっていて、自分たちには、ちょうどよい足慣しとなり、夕方からはよくきた。

8月13日(土)

7:00 起床

9:15 CAMP4 P 出発

9:30 Knob Hill Parking

Knob Hill

- ・Pot Belly 5.8 (TP)
- ・Unnamed 5.9 (TP)
- ・Sloth Wall 5.7 (R:kami,F:tetsu)
- ・Anti Ego Crack 5.7 (R:tetsu,F:kami)

TP:トップロープ
R:リード
F:フォロー

14:00 終了

14:30 買出し

15:45 テンバ

17:30~18:00

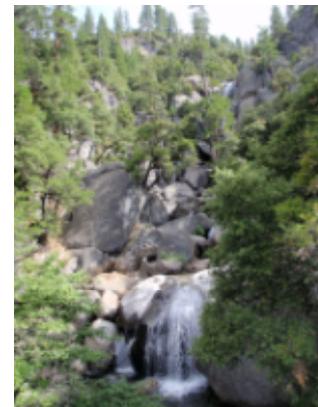
Swan Slab

- ・Unnamed Crack 5.7
- ・Unnamed Crack 5.9

19:00 シャワー

Approach:車

C4より西へ向かい、120号線に入る。約7.5mile(12km)ほどである。トンネルを2つくぐり、橋の直ぐ手前に駐車場(5~6台程)が左側にある。トイレはなし。橋の右横にトレイルがあり、入って直ぐに沢筋から離れる右のトレイルに進む。約5分程度で到着する。まずはPot Bellyの目の前に着くが、デポ地も日陰もありいいところだ。



橋から見える滝

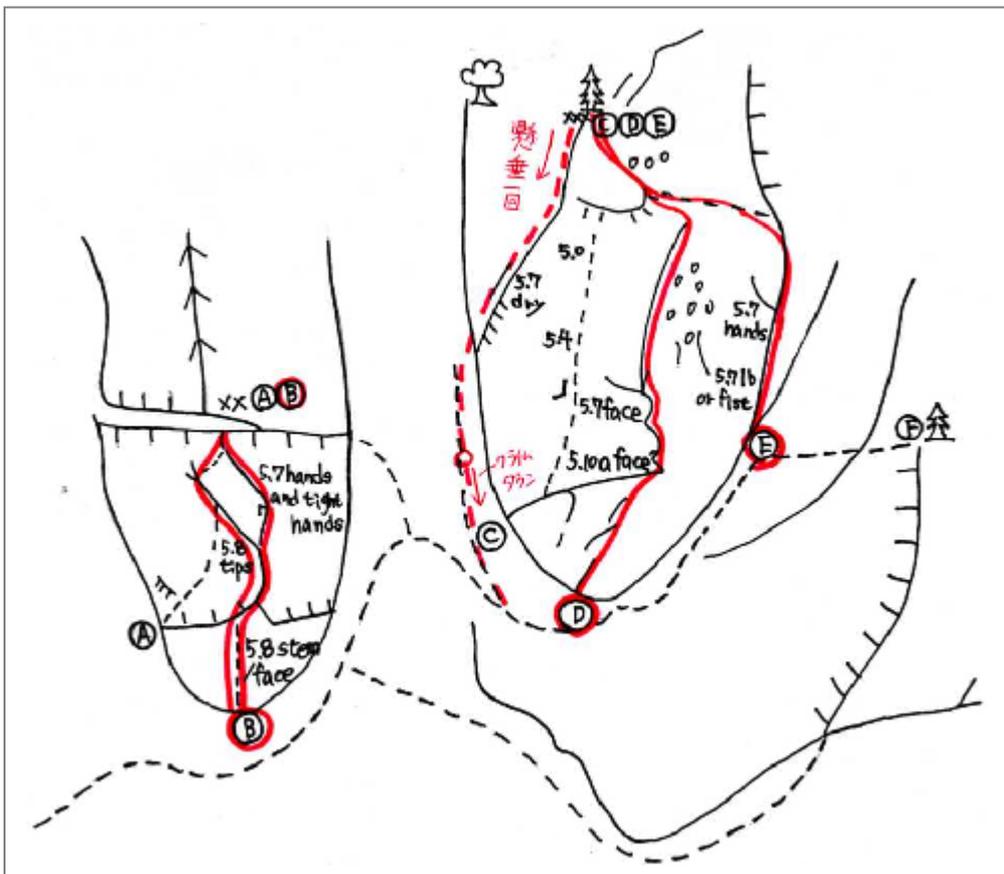
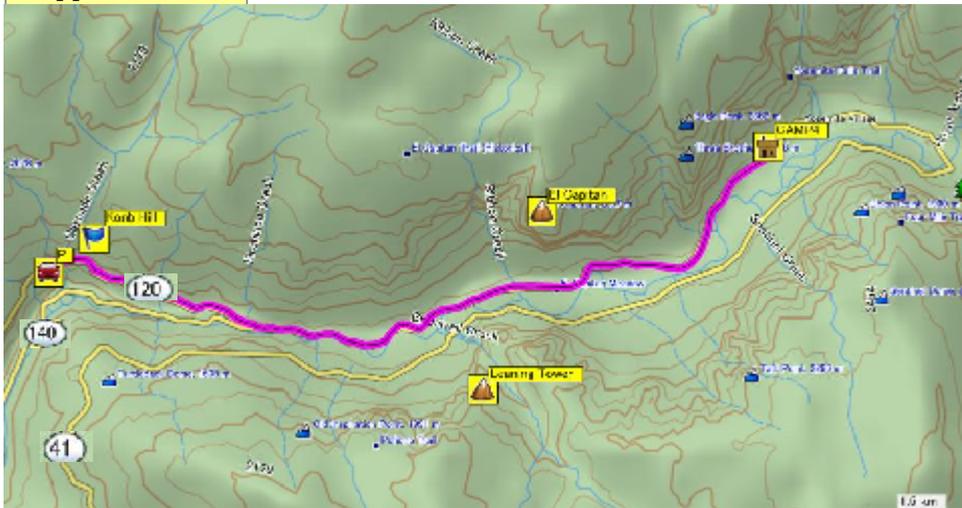
登攀:

Pot Belly は出だしの3m弱のスラブが難しい(少し滑りやすい)。トップロープも右側より回り込める。支点などはないため、岩やカムなどで工作が必要だ。Sloth Wall と Anti Ego Crack の終了点は残置がある灌木(同じ場所)を使用した。左寄りに降りれば一回で降りられる。後は少しクライムダウンなどが入る程度だ。また登攀も空身で可能。日中はかなり暑い。

座標

- ・Knob Hill Parking N37 ° 43' 39.03 W119 ° 42'45.31
- ・Pot Belly 5.8 N37 ° 43' 40.31 W119 ° 42'43.63

Approach: 車

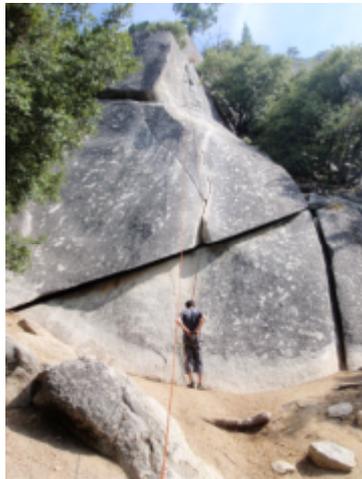


- A. Unnamed 5.9
- B. Pot Belly 5.8
- C. Just for Starters 5.10a

- D. Sloth Wall 5.7
- E. Anti Ego Crack 5.7
- F. Turkey Pie 5.7

今朝は、少しゆっくり目に起きた。これが時差ぼけを解消してくれた。朝食を済ませ、車で Knob Hill Area に向う。トポを頼りに探しながら行くが、エリア近くで右側にあるスペースに車を止める。しかし何となく駐車場とは思えず、もう少し先に進むことに。正解であった。橋の手前左側に 5~6 台程止められる駐車場に車を止めた。橋から見える滝を見に来る人も多い。支度をして岩場に到着、既に日差しがかなり強い。丁度よい木陰があり、ここで登攀準備をした。まずは、

Pot Belly 5.8 から始めることに。少しビビリもありトップロープ(TP)を張ることに。出だしのスラブが難しいが上部のクラックは安定して登れる。新しいジャミンググローブもばっちり決まる。



さあ、これからアタック。

Pot Belly 5.8

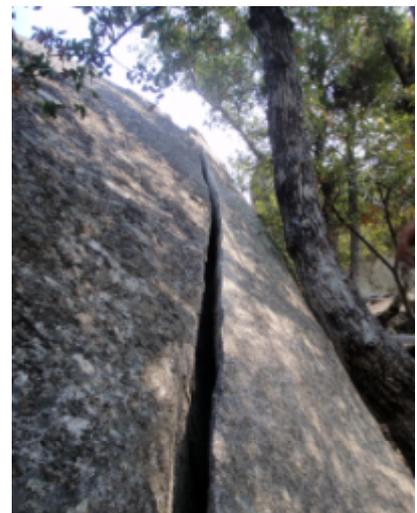
次に同じラインから左側に伸びるルートを登った Unnamed 5.9 。

一休みして、直ぐ隣の Sloth Wall 5.7 にチャレンジ。40m ほどあるので、リード(R)とフォロー(F)とした。クラックとフェースクライミングとなり、直上から上部で左よりに入る。残置支点がある灌木で切れる。

次はまた直ぐ隣の Anti Ego Crack 5.7 に挑戦。井上さんがリードで行く。ワイド気味のクラックから始まる。新しいクライミングシューズ TC Pro が決まっていた。こちらは直上せず、Sloth Wall と同じ灌木を使った。左側に 1 回で降りられる。



クラックはフィンガーサイズ



お昼辺りで一旦テントサイトに戻った。帰り路では、見事な Bridalveil Fall が姿を現した。いつかは、ブライダルで来たいなあ～。

少し暑さを避けて、夕方からは CAMP4 から歩いていける SwanSlab に行った。

フィンガーサイズのクラックだが、井上さんはうまく登っていた。自分はフィンガーが苦手なで登れず…。ということで、お互いに「フィンガーのテツ」「レイバックのカミ」と呼び合った。



Bridalveil Fall.綺麗だ。



unnamed Crack 5.9



unnamed Crack 5.7

8月14日(日)

6:10 起床

8:00 CAMP4 P 出発

8:30

Church Bowl Parking

・Uncle Funny 5.7 (R:kami,F:tetsu)

・Church Bowl Lieback 5.9 (TP,RP:kami)

12:00 終了

12:20 買出し

13:00 テンバ

16:30~17:30

Swan Slab

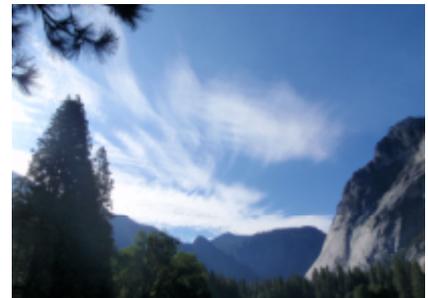
・Grant's Crack 5.9

・Unnamed Thin Crack 5.10a

19:00 シャワー

Approach : 車

C4より Yosemite Village を過ぎ突き当たりを右へ、約300m先の左側に駐車場がある。ピクニック駐車場でもあり、トイレも完備されている。岩場には歩いて1分程で着く。



駐車場からの景色(南側)

登攀 :

取り付き付近は日陰で風も通り、快適な場所である。

まずグレードの易しい Uncle Funny 5.7 からチャレンジしたが、狭いチムニーが以外と難しい。また、ここは70mロープがお勧めである(60mでも可能)。

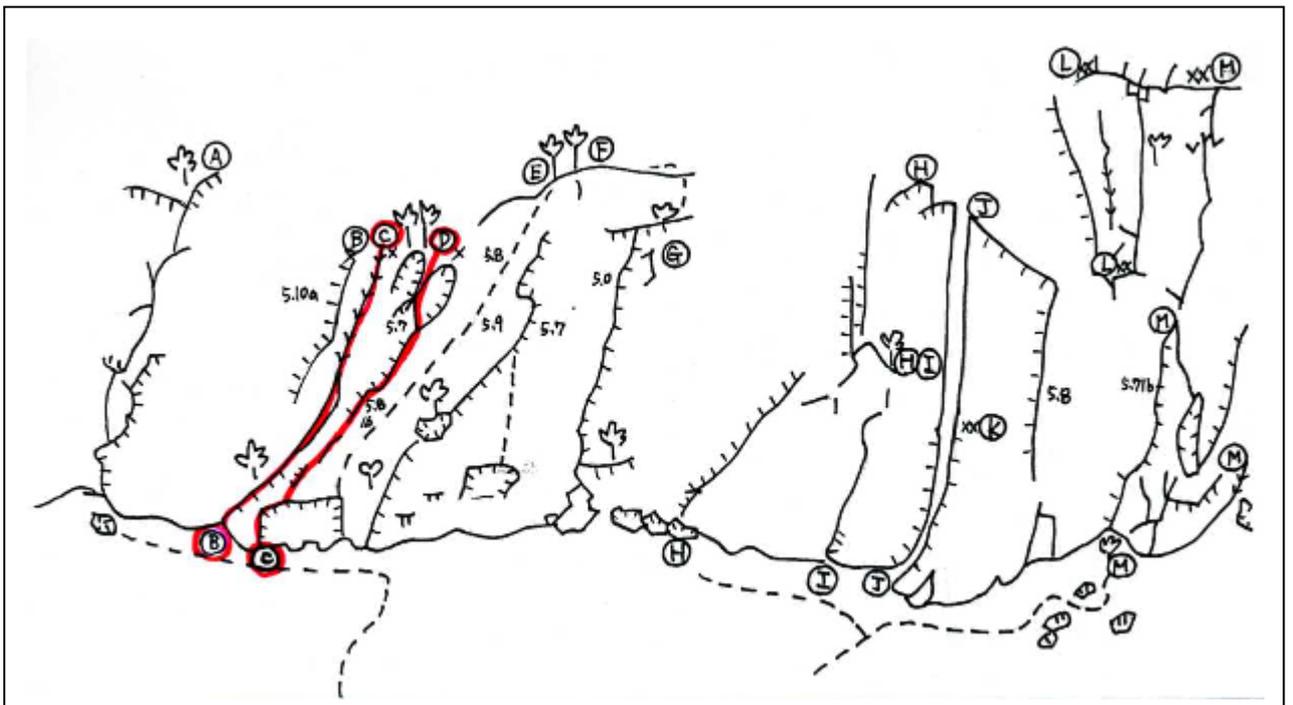
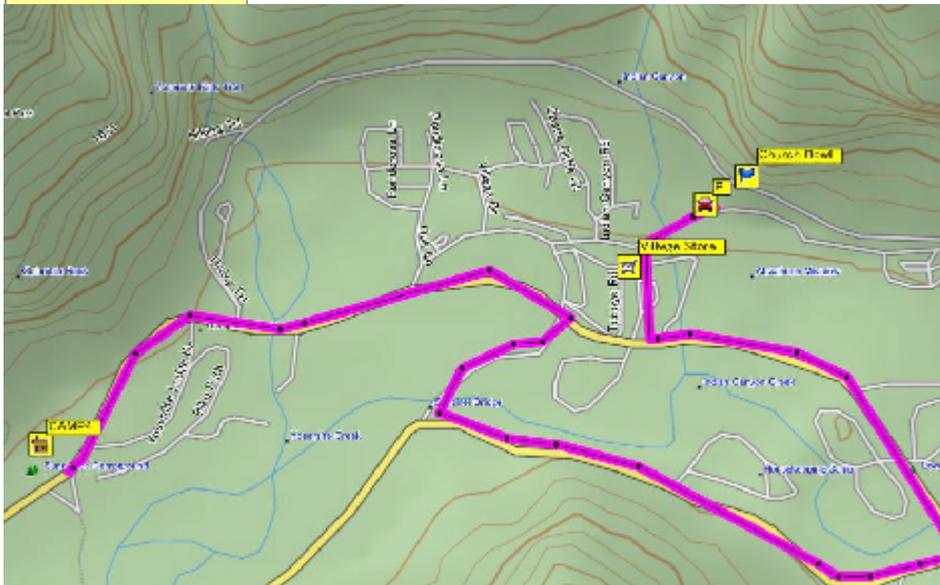
自分の中では、Church Bowl Lieback 5.9 は快心の登りであった。

座標

・Church Bowl Parking N37° 44'54.34 W119° 34'51.30

・Uncle Funny N37° 44'57.29 W119° 34'49.60

Approach: 車



A. Black is Brown 5.8

B. Deja Thorus 5.10a

C. Uncle Funny 5.7

D. Church Bowl Lie Back 5.8

E. Pole Position 5.10a

F. Revival 5.10a

G. Aunt Fanny's Pantry 5.4

H. Book of Revelations 5.11a

I. Church Bowl Tree 5.10b

J. Church Bowl Chimney 5.6

K. Energizer 5.11b

L. Bitches' Terrace 5.8

M. Bishop's Terrace 5.8

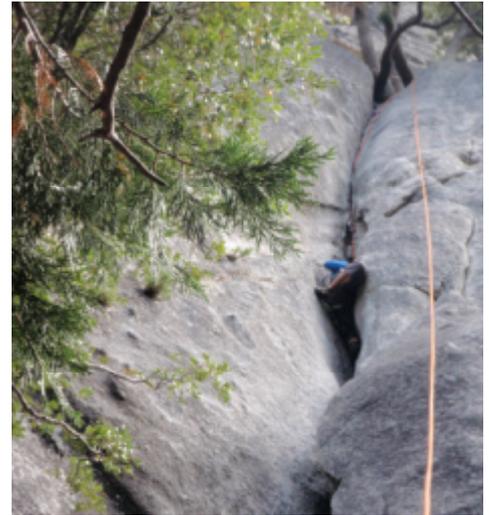
夜中は隣のサンタさんのイビキで、なかなか眠れなかった。とにかくすごい。  
今日は少し早めに起きて、スタートした。割と易しめのルートが13本ほどある Church Bowl に向う。駐車場が分からず Ahwahnee Hotel まで行ってしまった。ちなみにこのホテルの駐車場は宿泊者専用なので注意。700m 程戻り、車道の傍にある駐車場に着いた。また岩場は駐車場からも近く、木陰もあり、快適だ。しかし、岩場は暑い。

まずは Uncle Funny 5.7 だ。6~7 割りはオンサイト可能と思っていたが、これが以外と難しい。身体ギリギリのチムニーで苦戦した。TP を張り、井上さんもチャレンジ。だいぶ苦戦していた。次は、貼った TP をそのまま利用できる Church Bowl Lieback 5.9 。

これは自分にはちょうどよい。その後にリードでチャレンジ。レッドポイント。右向きのレイバックが好きなこともあり、これまでの中では快心のクライミングが出来た。楽しかった。

お昼は一旦テンバに戻り、昼寝をした。

夕方からは Swan Slab で遊んだ



Uncle Funny 5.7



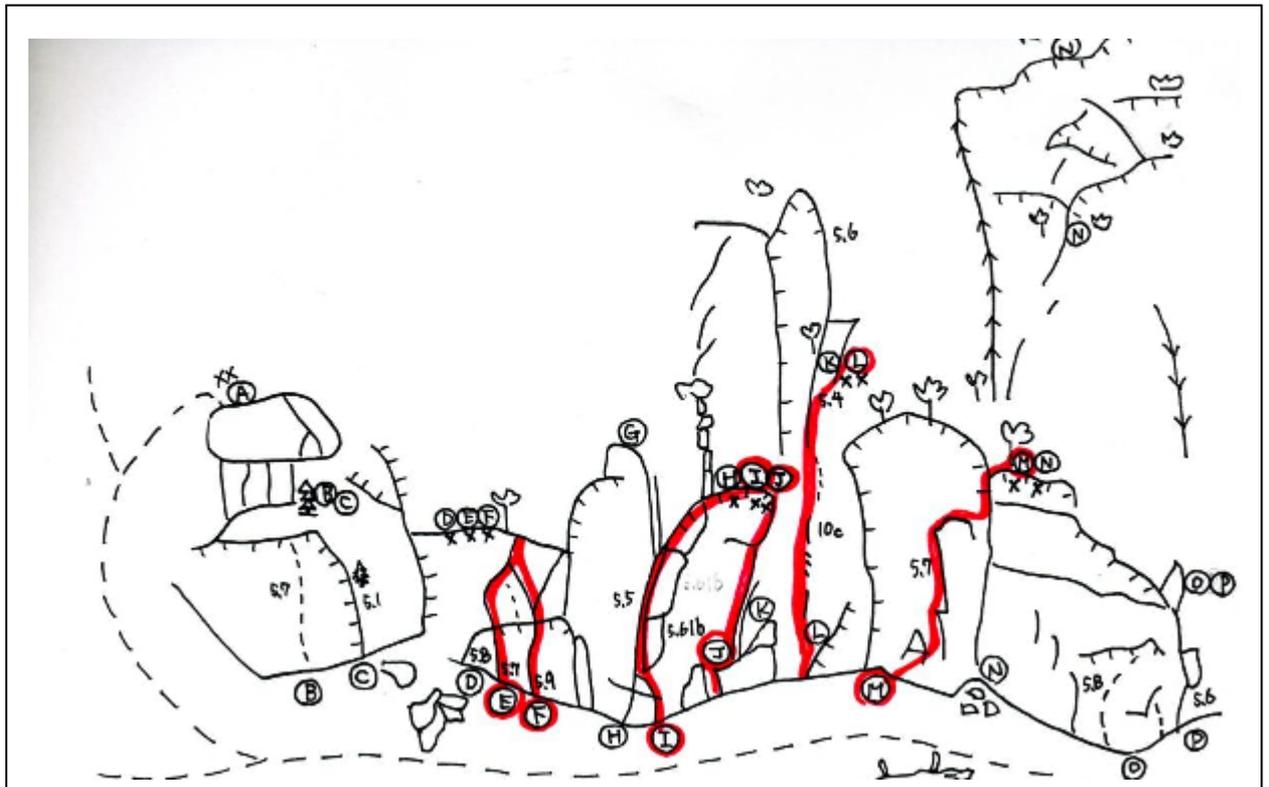
一杯やってお昼寝です。これ定番スタイル。

ここでは夕方からよく来た SWAN SLAB をご紹介しよう。

approach:徒歩

Camp4 より 5 分ほどで到着

登攀：主にショートコースからなり  
 マルチルートもある。ルートも 20 本  
 ほどあり、グレードは 5.6~5.11 と  
 様々である。



A. Penthouse Cracks 5.8-5.11a

B. West Slabs 5.6-5.8

C. Unnamed gully 5.1

D. Unnamed flared crack 5.7

E. Unnamed crack 5.7

F. Unnamed crack 5.9

G. Swan Slab Squeeze 5.7

H. Swan Slab Chimney 5.5

I. Oak Tree Flake 5.6

J. Grant's Crack 5.9

K. Unnamed thin crack 5.10a

L. Unnamed seam 5.10c

M. Penelope's Problem 5.7

O. Unnamed face 5.7

P. Hanging Flake 5.6

Q. Aid Route 5.10a A0 or 5.11b

R. Lena's Lieback 5.9

S. Goat For It 5.10a

T. Claude's Delight 5.7

8月15日(月) 本日はレスト

7:40 起床

8:00 朝食

9:40 洗濯( House Keeping)

12:00 買い物/ハガキ(Yosemite Village)

15:00~18:30 El Capitan 偵察

20:00 夕飯

### 【House Keeping】

ここではシャワーや洗濯などが使用出来る。シャワーは無料で、シャンプーとボディソープも完備されている。また、小さいが食材や日用品などが買える売店もある。

Approach : 車(約 3 分)

C4 より 2mile(3.2km)。

Shower House : am7:00 ~ pm2:00

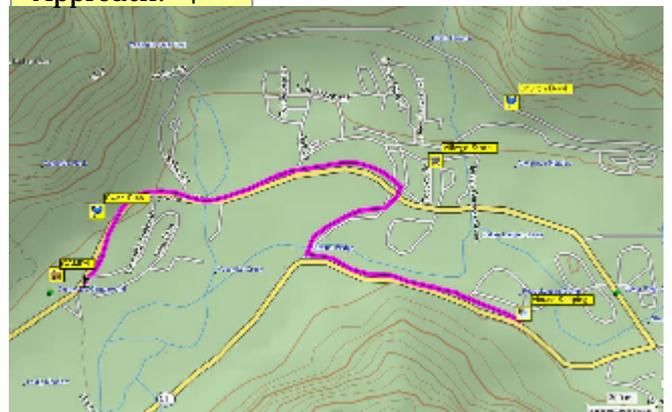
(無料) pm3:30 ~ pm10:00

Laundry : am8:00 ~ pm10:00

(\$1.25)

N37°44'28.80 W119°34'47.80

### Approach: 車



### 【Yosemite Village】

ショッピングセンター・Post Office・Visitor Center などがある中心部となる。

approach : 車(約 5 分)

C4 より 3.1mile(5km)

ショッピングセンター: この付近では一番大きなお店となり、食料品・日曜品・お土産まで揃えられている。Beer も \$ 1 以下である。

営 am8:00 ~ pm10:00

PostOffice : 絵葉書を近くの本屋さんで購入し、ここから日本に送った。99 セントほど。

Visitor Center : 観光情報やイベント情報など入手できる

は、ショッピングセンターに車を止めて、歩いて行った(徒歩 3 分ほどである)。

### Shopping Center



El Capitan 偵察

approach : 車(約 5 分) , 2.8mile(4.5km)

今回の一つの目的に Big Wall の偵察も入れてあった。そこで El Capitan を選び 3 時頃から向った。正面に臨む草原あたりに縦列駐車できるスペースに車を止めた。そこからほぼ直線に向い、草付きを渡り、トレイルが現われる。そのままトレイルを進むと、徐々に巨大な壁がせまってきた。約 20 分ほどで NOSE 取り付きに着いた。取り付きは、基部から左側に回りこんだ一段上にある。テラス状になっている。

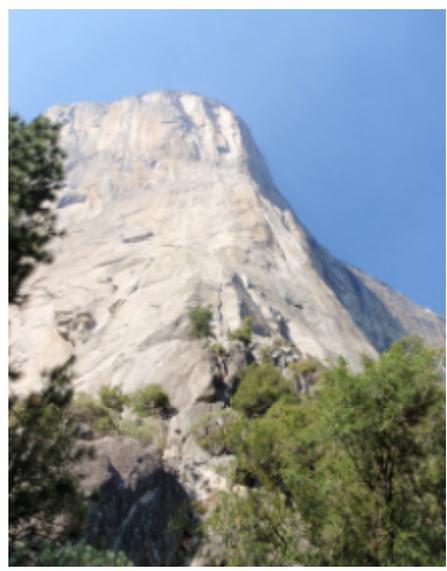
実は数ヶ月前に友人が NOSE を見事に完登した。直接、話しも聞いたが、何とも大したもんだ。いつか自分も登ってみたいという気持ちも湧いてくる。帰り際には、NOSE に取り付いている 4 パーティほどの動きをずっとみていた。ホールバックを上げる荷揚げパーティやスピードクライミングに臨むパーティもいて、それぞれの動きはとても勉強になった。

Approach: 車

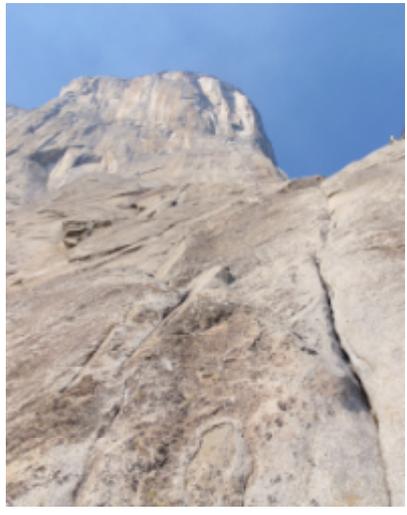


NOSE 取付  
N37 ° 43 42.74 W119 ° 38'13.42

ケルンもある



この壁に 5 パーティ以上が取り付いていた



1P 目 : クラックから始まる(5.7)

8月16日(火)

6:10 起床

9:00 CAMP4 P 出発

9:40 Five Open Books 着

・Munginella 5.6 (3P,奇数:kami,偶数:tetsu)

11:30 終了

12:30

14:15 CAMP4 駐車場

15:00 給油(Crane Flat Gas Station)

15:50 ~ 17:00 Rest

19:00 夕飯

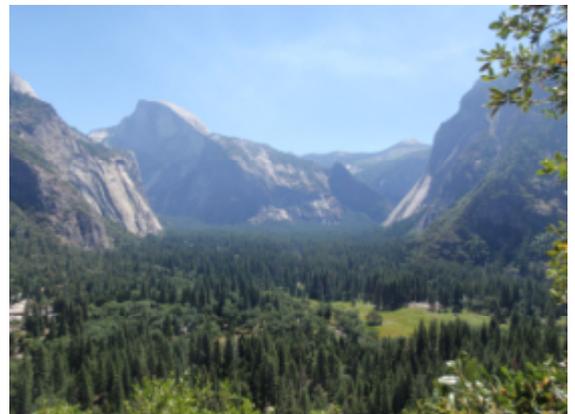


Approach:徒歩

C4 よりいつもの Swan Slab を横切り Yosemite Fall 方面に向う。円形スペースがあり、Yosemite Fall に向う左側にトレイルが平行している。100mほど歩くとカラビナポスト(1つ目)があり、岩場に向う左に進んでいく。10分ほど歩けば基部に到着。ここにもカラビナポスト(2つ目)がある。取付きは1段上のバンドから。

登攀:

取付付近はバンド状にあるため、登攀準備は基部の木陰がよい。5.6 だが登っていて非常に気持ちよいルートである。日中は暑いので、セカンドが小さめのザックを背負い、水 1L とトポなどを持っていった。下山は終了点から左に向う下降路(はっきりしている)があり約 20 分ほどで降りることが可能。安全を考えればスニーカー、軽量化にはサンダル(Keen)といったところだろう。

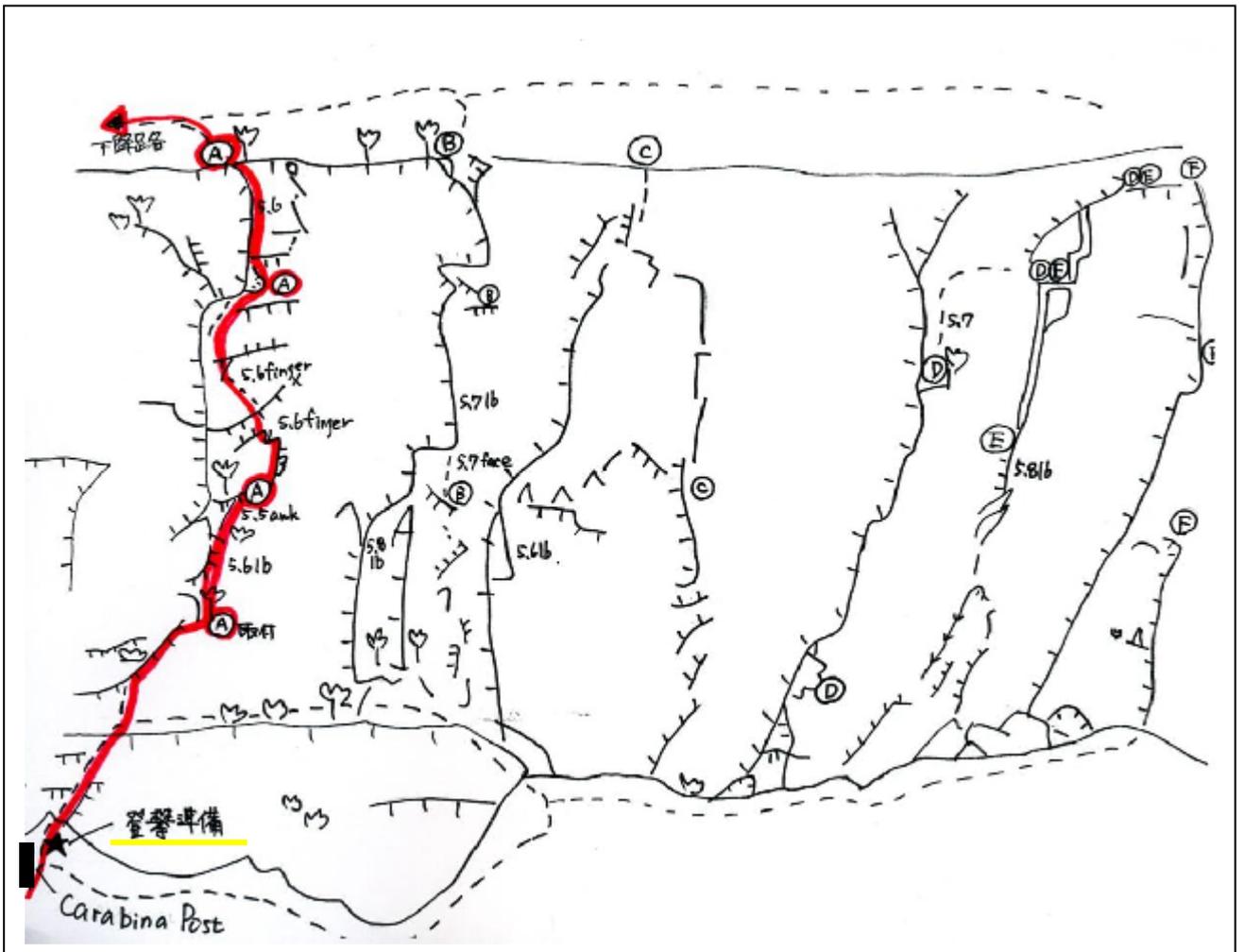
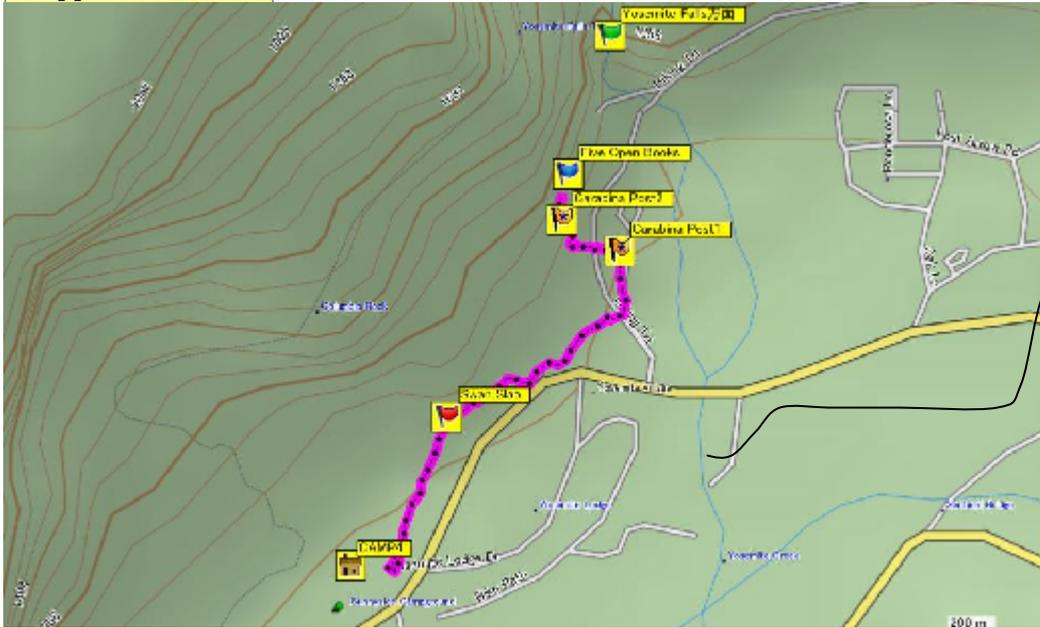


終了点あたりからの景色は最高

座標

- ・Carabina Post(1つ目) N37° 44' 51.57 W119° 35' 48.21
- ・Carabina Post(2つ目) N37° 44' 53.66 W119° 35' 52.61
- ・Munginella 取付 N37° 44' 54.67 W119° 35' 52.55
- ・ " 終了点 N37° 44' 55.61 W119° 35' 53.49

Approach: 徒歩



A.Munginella5.6

B.Commitment5.9

C.The Surprise5.10a

D.The Caverns5.8

E.Try Again Ledge5.8

F.Hanging Teeth5.8

昨夜は、サンタさんのイビキは大丈夫だったが、犬がかなり緊迫したほえ方をしている、眼が覚めた。周りも異様な雰囲気包まれていた。

今朝は珍しく自分が先に起床し、まず昼飯用のサンドウィッチを作り、朝飯が出来るところに井上さんを起こした。今日は、そろそろマルチに挑戦ということで、Five Open Books に向う。CAMP4 から 30 分程で歩いて行けるエリアである。Yosemite Fall に向い、円形スペースから滝に向う道がある。その道に平行するかのようにはトレイルがあり、100m ほどで Carabina Post が立っている。いわゆる道標のことであった。そこから左のトレイルに入っていく、しばらくすると基部に到着。日陰もあり、登攀準備をした。取付きは 1 段上のバンドの直ぐ上にある灌木から始まる。



1P 目(kami)：ワイドクラック(ハンドより少し大きめ)から始まる。岩質もよくジャミングがよく効いた。一手一手、慎重に進む。易しい分、クライミングがすごく気持ちよい。心が躍る。2 つ目の灌木でピッチを切った。井上さんが上がってくる。楽しそうだ。

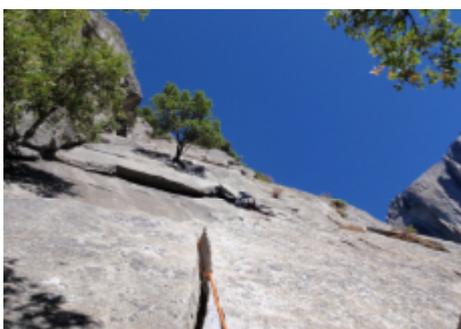
2P 目(Tetsu)：ここも出だしからクラックで、途中一箇所乗越が入る。順調に進み、右よりの小テラスで切った。すぐ上にはペツルのような古い残置があった。自分がセカンドで上がっていくと、ビレイ中の井上さんのバックには滝が流れ、絵になる。写真も撮りながら登った。また、隣の Commitment(5.9)を登るパーティも良く見えた。ちょうどハング越えのところだった。

3P 目：レイバックから入るが、微妙な角度で難しい。その頃に下からフリーソロで上がってくるクライマーがいた。「こっちはフル装備だというのに、何てこった」とつぶやく。彼曰く、今は左よりのラインが登られており、そっちはクラシックルートだと言っていたようだ。まあ、自分のクライミングを楽しむために、フェースを越え、最後のクラックを登る。ジャミングもバッチリ決まり、カムのセットも OK。最高のクライミングだ!!

終了点で、井上さんを迎える、握手を交わした。ここからの眺めもグットである。下山は左側に伸びるトレイルを使用した。

この後、井上さんがもう 1 本と言っていたが、苦手なレイバックと分かり辞めておくことになった。気になり始めた車のガソリンを入りに移動した。

夕方に行う恒例の Swan Slab は、明日の Nut Craker を控えレストとした。



2P 目、気持ちいい



バックは、  
Yosemite Fall

Approach: 車



### Crane Flat Gas Station



直前に案内看板あり



N37 ° 45'12.07 W119 ° 47'50.02

Crane Flat Gas Station:AM8:00-PM8:00

残念ながら Camp4 の周辺にはガソリンスタンドはなく、Camp4 より約 mile(25km)ほど離れたところまで行く必要がある。ここも一応 Yosemite Park 内ではある。  
ヨセミテに入る前に街の中で満タンにしておくことをおすすめする。24h 営業のところもあった。

8月17日(水)

6:15 起床

8:00 CAMP4 P 出発

8:30 Manure Pile Buttress Parking

9:00 Manure Pile Buttress

Nut Craker 5.8

9:40 登攀スタート

14:30 終了

15:30 シャワー & 買出し

16:40 テンバ

18:00 夕飯

#### Approach:車

C4より西へ約1.68mile(2.7km)に移動。しばらく行くとピクニックエリアの駐車場がある。ここは昼間のみ開放されており、夜間は施錠されるようだ。駐車場内はトイレもあるが水はない。駐車場から岩場に向うトレイルが右よりにあり、5・10分程で到着する。ただし、ここは日陰もあるが、とても蚊が多いので、蚊取り線香があるとよい。

#### 登攀：5P

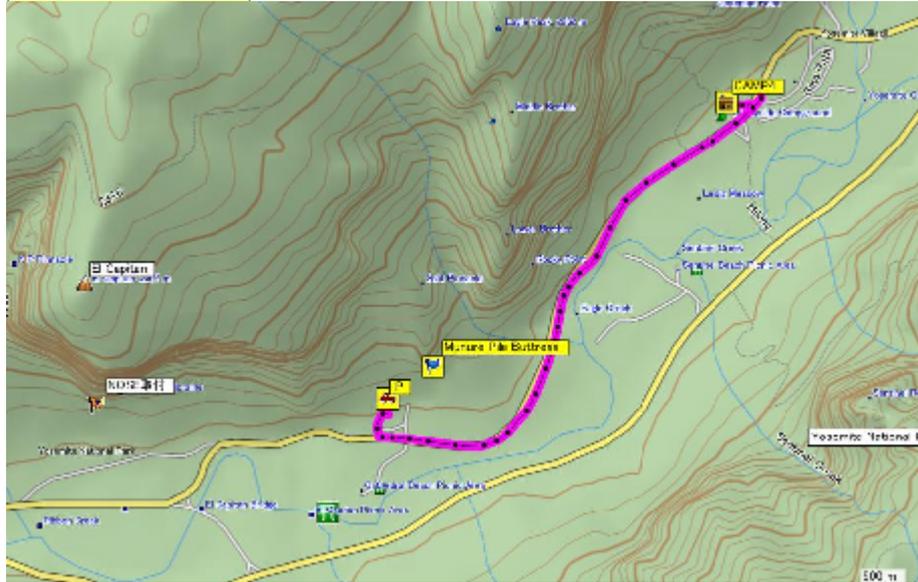
セカンドが小型のザックを背負い、水1L、トボや2人分のサンダルを入れた。ギリギリだったが、ゆっくり目だったので、水は1.5Lぐらいあると助かる。

下山は、終了点から1段上がる(大きな松の木まではいかない)。左側に入り込み、大きな岩をクライムダウンする。更にその先にトレースが見える。後は15~20分程で下山。ただ、滑り易い道なので、不安な場合はスニーカーがよい。

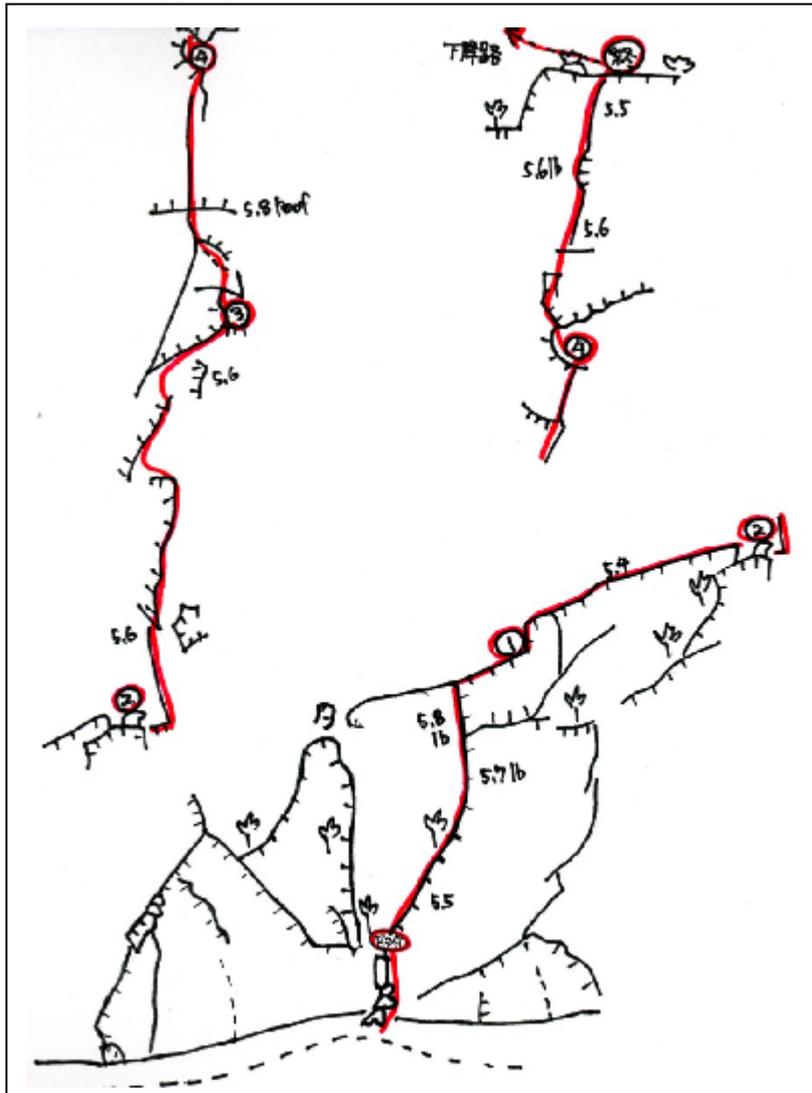
#### 座標

- ・Manure Pile Buttress Parking N37°43'41.59 W119°37'14.45
- ・Nut Craker 取付 N37°43'49.10 W119°37'06.52
- ・ " 終了点 N37°43'52.53 W119°37'08.27

Approach: 車



Nut Craker ルート図



今日はいよいよ Nut Craker の日である。半日ルートでは、ヨセミテを代表する好ルートで、5.8 ではあるが、それなりのクライマーでも充分楽しめると評判である。われわれも、今回のヨセミテクライミングツアーの中でも大きな目標としていた。

朝食を済ませ、車で西へ移動。駐車場が不透明なため、手前の駐車場から止めて確認して行く。2ヶ所ぐらい止めたが、やはり予想していた駐車場で正しかった。ピクニックエリアの駐車場でもあり、トイレもある(水場はない)。準備しているとカップルのクライマーもやってきた。まあ、女性が何ともかっこいいこと。岩場に向うトレイルを左に進み、5分程で到着。取付きは、5m程上の灌木からスタートのため、そこで準備をした。ここは蚊が多かった。自分は、今日は勝負のためクラックグローブではなくテーピングを巻いた。

1P目(kami)：見るからに手強い感じだ。弓なりに若干ハングしており、中段5.7、上段5.8のレイバックとなる。しかも左レイバック。少し苦手だった。中段までは難なく進むが、上段は持てるもの全てを使う。行くしかないのだ。乗越しの左側にある足の位置が滑りそうなことも冷静に感じた。その後、右上して一段上でピッチを切った。フォローの井上さんも頑張っているようだ。呼吸が聞こえる。

2P/3P目(tetsu)：やさしいバンド状を右上気味に伸ばしていく。30m弱だろうか。大テラスで切ることに。トポだとそのまま伸ばしているようだが、ここで切った方がいい。続けて3P目も井上さんが行くという。



3P目、オブザベ中



1P目、う～ん手強そうだ

横にあるクラックに移り、しばらく直上して少しジグザグに登っていった。30m程の先にある小ハングの前で切った。

4P目(kami)：まず小ハングを越えるが、ジャミングが効いてくれ安心していけた。クラックやフェースクライミングとなり40m程伸ばしたところで切ることに。ただし、残置物などは全くないため、ナチプロで支点を工作。本当はもう一段上がよかったようだ。ここ

から、5P目の3m程の垂直の壁を越えていくところがよく見えた。少し難しそうに見える。この頃から、後続パーティーの姿が見えた。気になるため、少し嫌がった。

5P目(tetsu)：まず直上し、壁のアンダーを取り左へトラバース。そこから左側にあるクラックをお腹あたりの高さで指を入れる。そこで伸び上がればまず右手でガバが取れる。次に左手で少し奥にあるガバが取れるのだが、ここで左手に力が入らないようだ。何度か体を持ち上げるが、なかなか上がらない。「ああ、ダメだ。



井上さん、ガンバ!!

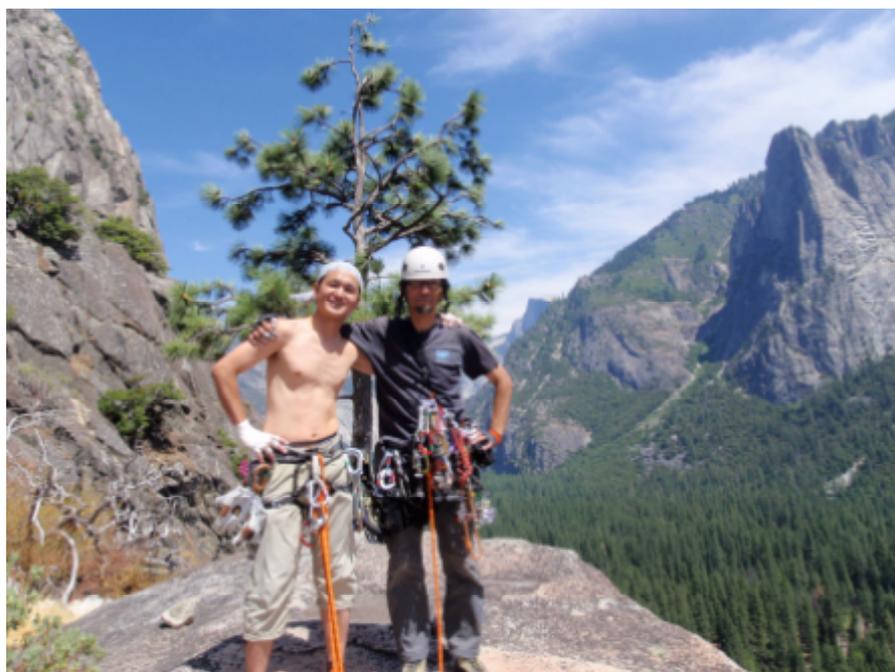
難しい〜」と、レストも入れて 4 回程チャレンジするが、厳しいようだ。自分はビレイしているが、いつ落ちるかヒヤヒヤしていた。たまらず交代しましょうと声をかけ、その核心部分を越えた。その後も、小さなクラックやフェース登りが続き、何とも気持ちがよい。終了点に着くと、駐車場であった女性クライマーがいた。その姿は、何ともサマになっていた。反対側では Harf Dome が見える。井上さんも上がってきて、握手とハグで喜びを分かち合った。格別の気持ちだ。



終了点にて、「OK〜」



気分は最高!!



ハイ、チーズ。

8月18日(木)

6:00 起床

7:00 CAMP4 P 出発

7:20 Curry Village Parking 着(1,220m)

7:40 スタート

9:15 休憩ポイント

11:40 チェックポイント

12:00 足止め後スタート

12:50 Half Dome Peak (2,690m)

13:15 下山開始

16:50 Curry Village Parking 着

#### Approach:車

C4 より Curry Village に移動。一番奥にある Parking 約 1.6mile(2.56km)に車を止めた。かなり多きな駐車場だが、トレッキングの人などで満車になることも。その時は、数百メートル手前の駐車場も使える。

トレッキング(往復)：約 16.25mile(26km), 所要時間 9h30m

ずっと裏側に回りこんでのルートとなるため、距離・時間とも十分な余裕を見てほしい。また昨年から Permit 制が導入されたため、予め情報を入手するとよい。無料だが、1日400名で制限しているとのこと。関所もある。

かなり暑いので、それなりの暑さ対策が必要。自分は折りたたみの日傘と首に巻くクールタオルが役に立った。水は最低でも 2.0L 以上とサングラスは必携である。靴はスニーカーとした。最後の階段では、アメリカ人はよくスリングとカラビナでバックアップを取っていた。さすが、自己責任の国である。

#### 座標

- ・Curry Village Parking(Half Dome) N37 ° 44' 06.00 W119 ° 33 '59.04
- ・関所(Permit チェックポイント) N37 ° 44' 55.77 W119 ° 31 '38.22
- ・Half Dome Peak N37 ° 44'45.92 W119 ° 31'59.17



いよいよ今日は、ヨセミテ最終日である。Half Dome トレッキングだ。

なるべく早めの出発を心がけた。前日には駐車場も下見しておいた。コースタイムは、9 時間とのこと。予想では 8 時間あたりかと思ったが...

お昼のサンドウィッチは 2 個ずつ用意し、出発した。

最初の 1~1.5h ぐらいは、順調に進んだ。徐々に照りつける日差しがきつくなってくる。帽子は忘れたが、日傘とクールタオルを用意しておいた。橋を渡り、しばらく行くとトイレと水場がある。緩やかな傾斜をただひたすら登っていく。その先で、ノーマルルートとエキサイティングルートに別れていた。もちろん後者を選んだ。最初に迎えてくれたのは Vernal Fall だ。水しぶきが気持ちいい。しばらく行くと Nevada Fall だが、またこれも



でかい。この滝を過ぎた広場で休憩した。しかし、ここから先が長かった。ひたすら歩くと強烈な日差しが照りつける。やっとハーフドームも見え始め、進んでいくと何やらレンジャーの方が見える。しかも何かチェックポイントのようだ。トレッカー達は、許可書を見せている。話しをするが、早い口調でよく分からない。しばらく木陰で待つようにと言ってるようだ。事前の情報では、Permit や料金などはかからないとのことだった。しばらく待つと、何やら通過しても良いという感じであった。トレッカーに感謝の意を表し、握手した。ここからは大きく 2 段になっていて、ジグザグに登っていった。休憩を挟み、いよいよ階段がある最終の登りだ。予想以上に急峻な斜面だ。手すりにつかまりながら登っていく。下降途中のおばさんが降りられず救助されながら下っていた。渋滞もあり 40 分ほどかけてピークに到着。ピーク付近はかなり広大であった。景色もいい。



[国内準備]

海外山岳保険：日山協山岳共済会を通じて申し込みを行った。見積書依頼書の申請後、届いた申込書にて郵送する。今回の保険金額 ¥1,100 円であった。

死亡：100 万 後遺障害：100 万 救援者：500 万 賠償責任：1 億

国際免許：運転免許試験場では即日発行だが、警察署などでは 2 週間ほどかかる。

手数料 2,650 円

参照 <http://www.police.pref.kanagawa.jp/mes/mes83008.htm>

充電関係：今回はレンタカーということもあり、各充電関係は車から行った。

家庭用 AC が使用できるインバーターを用意した。約 3,980 円。

高出力(120W)対応の物を選べば、携帯・デジカメ・PC でも使用可。

カーナビ：GARMIN のカーナビに北米の地図を用意して使用した。予め、必要なポイントなどはグーグルアースなどから転送しておいた。

食糧：調味料/ラーメン/御茶漬けなどがあればよい。日本製サランラップが重宝する。

荷物：預け荷物 2 個/1 人(23kg まで/1 個)、機内持込 1 個 (デルタ航空)

重さや手荷物の個数はあまりチェックされてなかったような気がする。(航空会社による)

登攀具：必要な物は持参。ロープはシングル 60m(井上さん)とした。

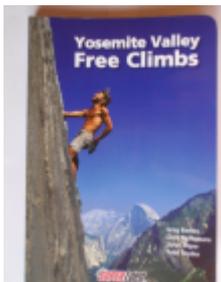
トポ：蝸牛や知人などから TOPO 関係の本などを貸して頂いた。井上さんがネット通販で SUPER TOPO も購入し、ルート選定に役に立った。

携帯電話：海外で使用したい場合は、予め設定など確認しておこう。現地では、メールなどのやり取りは役に立った。

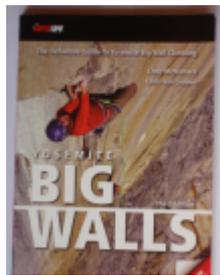
[海外準備]

登攀具：REIなどで購入可能だが、在庫数や種類はまちまち。Yosemite内のアウトドアショップでは豊富に揃えられていた。日本より2~5割ほどで購入できる。

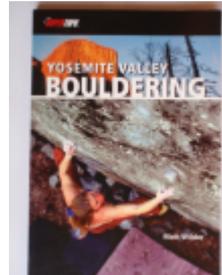
トポ：現地ではSUPER TOPOなども購入可能。



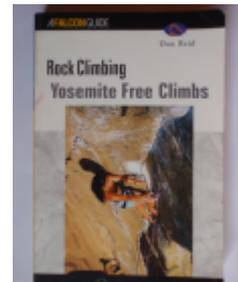
今回の山行では、一番重宝したガイドブック \$29.95



BIG WALL ならこれ \$29.95



ボルダーならこれ \$18.95



大田さんからお借りしたガイドブック

レンタカー：日本で予約して、到着したサンフランシスコ空港から使用した。注意点は、一部を除き赤信号でも右折は可能(必ず一旦停止すること)。ヨセミテ内では、食料やペットボトルなどを車内に残置してはならない。

食糧：途中のスーパーなどで用意した方が安い。現地でもほとんどのものが購入可能。クーラーボックスなども有効である。ビールなど冷やせる。また、食糧関係は全て専用のボックスに入れなければならない。

ボックスサイズ： x x c m(メモが...)

行動食：サンドウィッチを作った。パンや具材などは充分に入手可能。

その他：電波時計はうまく現地時間に合わなかった。事前に操作方法など確認しよう。

会計

YOSEMITE NATIONAL PARK Climbing Trip Cost

支払先	名目	単価(円)	数量	金額(円)	現地通貨(ドル)
H・I・S	航空券	107,000	2	214,000	
	燃油サーチャージャー	50,000	2	100,000	
	アメリカ出入国税	4,860	2	9,720	
	成田空港施設使用料	2,040	2	4,080	
	航空保険	1,000	2	2,000	
	成田旅客保安サービス料	500	2	1,000	
	手配代金	3,150	2	6,300	
	Hertz Rent A Car	4,350	10	43,500	
合計				380,600	
1人当たりの費用				190,300	

支払先	名目	単価(ドル)	数量	金額(円)	現地通貨(ドル)
YOSEMITE NATIONAL L PARK	入園料	20	1	1,600	20.00
	キャンプ使用料7泊8日	10.00	7	5,600	70.00
	駐車場パス 1年間有効	0.00	0	0	0.00
	食費(昼食・飲物含む)	89.52	1	7,162	89.52
	材料費	244.60	1	19,568	244.60
	ガス缶等 雑費	14.98	1	1,198	14.98
	燃料(車)等	40.00	1	3,200	40.00
Capri Motel	洗濯代	1.25	1	100	1.25
	モーター代	211.95	1	16,956	212
	合計				53,784
1人当たりの費用				26,892	336.15

為替レート \$ 1.00=約 80

総額	434,384
1人当たりの費用	217,192

<個人のページ：井上>

昔は「人生 50 年」と言われていました。私も今年で 50 歳を迎えます。その記念として海外登山を以前から考えていました。70 周年記念の会の遠征には参加できなかったのですがそれに変わる山行が出来ればよいと思っていましたが、長期休暇が取りづらい環境や計画準備期間が短いなど様々な理由で半ば断念していました。

昨年の 6 月頃に当会の近藤氏に三宅島でのクラッククライミングトリップに誘われました。結果的には天候が悪く、小川山・湯川・瑞垣山とクラッククライミング三昧でした。痛い！登れない！悲惨な結果となりましたが、今までにはない楽しさや緊張感などを覚え新たな発見をしました。

人生頑張った 50 年と海外・クラッククライミングが重なりヨセミテ行きを計画しました。その計画に上坂氏が賛同して頂き、同行することになりました。

何かと公私共にやることが多く練習など十分な準備が出来ないまま渡米してしまいました。ヨセミテはスケールが大きく何を見ても圧倒されてしまいます。グレードが低いルートでも緊張してしまいます。何か「ヨセミテ」というネーミングに負けていました。エルキャピタンでノーズを登るパーティーに見とれて「将来は・・・」と思いましたが、年齢と気力を考えるとちょっと厳しいかな？と思いました。しかし、クライミングは楽しく毎日充実していました。ショッピングや観光などもして自分のご褒美としてよいクライミングトリップになりました。海外でのクライミングは初めてだったので色々なものを持って行きました。クライミングギア以外でとにかく便利だったのが、上坂氏が持参した「カーナビ」でしたね！レンタカーでの移動だったので事前に行き先などをメモリーしたカーナビは大変便利でした。上坂氏の準備に感謝いたします。アルパイン・フリーに拘らずこれを期に海外でのクライミングを増やしていこうと考えています。

私は 42 歳で山岳会に入会してアルパインクライミングを中心に登っていましたが、このようなクライミングスタイルは自分にとって新鮮でした。まだまだ色々なクライミングスタイルがあると思います。残り少ないクライミング人生を楽しく過ごすために「クライマー」として色々とチャレンジしていきたいと思います。

<個人のページ：上坂>

ヨセミテに行く決意：

06年・07年とネパールに行き、海外登山を経験した。特に07年では、神奈川山岳連盟として未踏峰チャコ(6,704m)にも登頂することができた。その後は、仕事との兼ね合いもあり、高所から遠のくが、行きたい気持ちはある。自分の中でも葛藤があった。

そういう中でも、何とか刺激を与えたい、海外に行くことで何か開花するのではないかと期待した。そういう意味でヨセミテ行きを選択したのだ。

登攀：アルパインを始めて、もう5年になるが、未だにグレードは10台である。いつも何をやってるんだと思う。登攀力は自分の中でもウェイトが大きい。誰にも負けたくない。流され続けてきた自分のはかなさを実感した。実際、ヨセミテ対策の登りに打ち込めたのは行きの2ヶ月前だ。これでは遅すぎる。自分は、後輩の面倒を見るために蝸牛に入った訳でもない。自分の認識の甘さを痛感した。常にチャレンジする精神が大切である。御大の言葉が印象に残っている。「後輩を連れて行くことだけが育成ではない。連れて行かなくても、目標となるような登攀をすればよい」と、心に響いた。

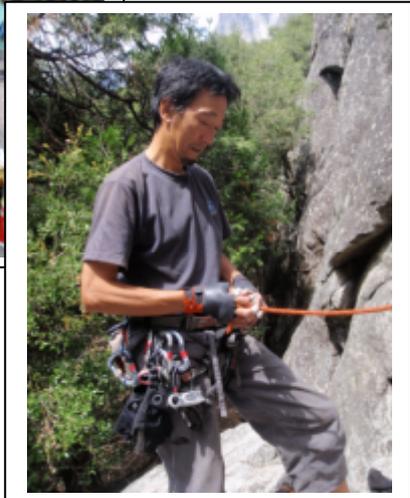
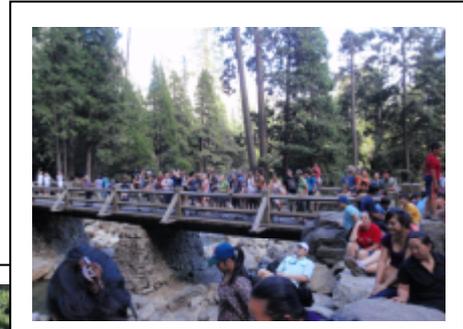
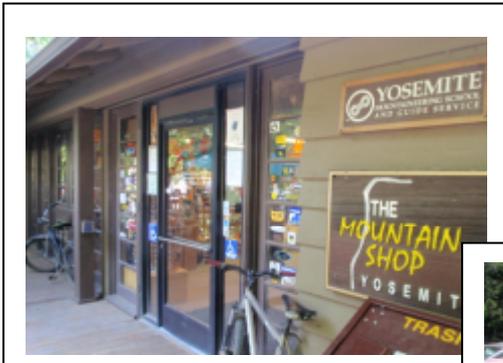
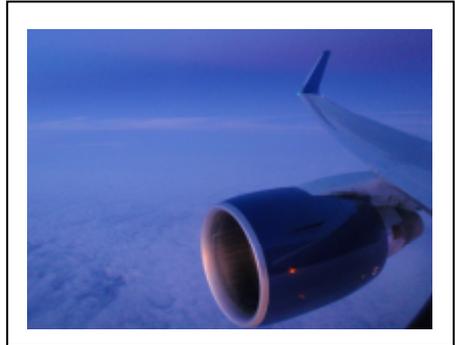
実際、ヨセミテでは5.6も楽しい。5.9になるとかなり厳しい。もっと幅を持たせたい。ちなみにフリーに力を入れているのではない。自分はアルパインクライマーである。ジムやゲレンデが登れてもしょうがない。本チャンで、悪い時・ピンチな時にこそ力を発揮したい。うまいクライマーではなく、強いクライマーになりたい。

自由なページ：アメリカでは日本から持参したBOOWYのCDを車でよく聞いたものだ。思い起こせば、中学時代に聞いたBOOWYのサウンドは僕のRock'n Rollに火を付けた。そして、あれから25年。今回、BOOWYのビートは僕らの「Rock」な魂に火を付けてくれた。もちろんRockとは「岩」のことである。

パートナー：今回は計画から帰国まで井上さんには大変お世話になった。24h、10日間以上も、一緒に居れば、やはり我が出ることもある。そんな僕を井上さんは温かく接してくれた。感謝である。「アメリカも広いが、井上さんの心はもっと広がった」。

以上、パート (2012年夏)へ続く。

定期 TIME	航空会社 AIRLINE	機名 FLIGHT NO.	行先 TO
14:55	KOREAN AIR	KE1	LOS ANGELES
15:05	DELTA	DL276	DETROIT
15:15	DELTA	DL172	NEW YORK
15:30	DELTA	DL618	PORTLAND
15:35	DELTA	DL284	LOS ANGELES
15:50	DELTA	DL280	ATLANTA
6:00	DELTA	DL622	MINNEAPOLIS
6:10	DELTA	DL208	SAN FRANCISCO
6:15	DELTA	DL296	SEATTLE
7:00	KOREAN AIR	DL638	SALT LAKE CITY
8:25	KOREAN AIR	KE2	SEOUL
9:30	DELTA	KE5716	BUSAN
11:30	DELTA	DL173	MANILA
12:35	DELTA	DL288	LOS ANGELES



Photograph

